

令和元年度

味方地区コミュニティ懇談会

◆開催日時：令和元年7月18日（木） 19：00～21：20

◆開催場所：味方出張所 3F 会議室



<質疑概要>

中ノ口川左岸の脆弱な堤防の早期改修について

発言： 早急に中ノ口川左岸の堤防を安全に改修して私達の不安を取り除いてほしい。また、堤外地の樹木等の伐採を今後も引き続きお願いしたい。

回答： 県にも確認しましたが、用地買収、物件補償などが終わらず完成は未定の状況です。私どもも安心安全なものに早くしてもらいたいと県と国に要望していますのでご理解いただきたいと思えます。伐採の関係は確認をさせていただき、県に話をしたいと思えます。

発言： 塩俵橋が完成しないうちは、高井橋より上流の左岸堤防改修は考えていないと聞いたが本当か。

回答： 高井橋から上流の改修時期は、県は未定との回答です。

防災について

発言： 川が決壊した時にどこへ避難するか、地域を越えた避難所やどう動くかのシミュレーションを考える必要があるのではないか。

回答： 味方の人口が入れるだけの避難所は十分にありますが、避難所はどこへ行っても構いません。危ない時は私たちが避難指示や勧告を出しますので従っていただき、まず自分の命を守ることが第一ですが、加えて地域のお年寄りをどうやって地域で守れるかを考えておいていただきたいと思えます。洪水の時は、一時避難所である学校や緑ヶ丘病院に行っていただくことを徹底してください。

白根まちなかへの移動手段について

発言： 路線バス味方線の何本かを白根のまちなかへ迂回する路線変更はできないものか。路線変更が難しければ代替手段はないか教えてほしい。

回答： 交通の基幹軸を作り横の線をどう作っていくかを創生会議で検討してもらっているのですが、創生会議でその検討をできないか話はさせていただきます。今後、シミュレーションした中で意見をいただきながら修正していきます。

併せて、乗合タクシーの導入を検討させていただきます。また、大通コミ協の思いやりネットのような買い物代行サービスを地域で助け合いとしてやれるのではないかなど私は思っています。

発言： 地域の助け合いは福祉サイドとの関係なのか、有償ボランティアとなるのか分からないが、行政の責務として公共交通体系を維持するのか考えを聞きたい。

回答： 先ほどの乗合タクシーは検討させていただきますし、買い物支援は地域としても検討できないも

のか、将来的には必要ではないかと私は思います。また、移動販売車で定期的に回っている業者もあるので活用するのも一つの方法と思います。

支えあいのしくみづくりの取り組みについて

発言： 支えあいのしくみづくりは、今年から推進員が変わったが、また同じことを一からやり始めようとしている。推進員が前面に出て提案と対応をしてもらいたい。それをフォローするのが私たちだと思っている。

回答： 企画を推進員が出すのを待っているのではダメなんです。こういうサービスがどうしても必要だから、そのサービスをやるためにはどうしたらいいのかという相談に乗るのがコーディネーター、提案をするのは地元なんです。その辺の掛け違いがあったから新しい人になったので、ちょっと様子を見ている状況です。話し合いを持ちましょう。

発言： スタートの段階で何かが、説明する側がどこかで違ったと思う。早急にやってほしい。

苧麻の見通しについて

発言： 麻糸と苧麻の違い、強度や値段、地産地消できるのか教えてほしい。

回答： 凧協会で強度計算をしてもらい、強さは遜色ないとの話です。値段は相当安く5分の1だそうです。苧麻の栽培は陽当たりが良過ぎると横芽が出て節ができてしまい良い糸が取れないほか、風に倒されても芽に陽が当たるので横芽が出てしまうと聞いています。凧協会に取り組んでいただいているので相談しながら続けていきますが、凧綱の切り替えにはもう少し時間がかかるのではないかと思います。

避難警報について

発言： 気象庁や国の警報の出し方が変わったと思うが、新潟市ではどう変わったか。

回答： 国は広域的に警報を出します。例えば新潟県がレベル4と出ても、それぞれの市町村で出す避難指示は別なので、区役所で出す避難勧告や避難指示に従ってください。区で出すもので対応いただきたいと思います。